



第9回ダナン都市開発フォーラムを開催しました。

ベトナム・ダナンの開発ビジョンが共有され、両市の今後3年間の協力重点分野を確認しました。

<Y-PORT 事業について>

横浜市 Y-PORT 事業では、市内企業と連携しながら、海外都市の都市課題の解決に資する案件発掘や、事業化調査及び実証事業等の推進によるインフラ事業の形成に取り組んでいます。

1. 第9回ダナン都市開発フォーラムの開催報告

9月9日、ベトナム国ダナン市から人民委員会副委員長をはじめ現地企業を含む18名が来日し市内企業、市関係局、国際協力機構（JICA）等の参加のもと第9回ダナン都市開発フォーラムを開催しました。

当日接近した台風15号の影響で、本会議の開始時間の遅れや、視察先の変更が生じましたが、3日間のフォーラムを無事実施することができました。公共交通が混乱する中で、ご参加くださった企業の皆様に心よりお礼申し上げます。

第9回ダナン都市開発フォーラム

日程：2019年9月9日（月）：本会議

9月10日（火）・11日（水）：港湾開発や都市交通整備に関する意見交換会

場所：横浜シンポジア、横浜国際協力センター他

<参加者数（9日）>

ベトナム国ダナン市側：18名

日本側（横浜市関係者含む）：62名

(1)ダナン市からの参加部局・企業（職位）

- ダナン人民委員会（副委員長、職員）
- ダナン天然資源環境局（局長）
- ダナン情報通信局（局長）
- ダナン交通局（副局長）
- ダナンハイテクパーク工業団地管理委員会（副会長、課長補佐、民間・労働管理課課長補佐）
- 計画投資局（副局長、海外経済連携課長補佐）
- ダナン都市環境会社（最高責任者）
- ダナンIT開発株式会社（最高責任者、副責任者）
- ダナン港株式会社（副責任者）
- ダナン駐日代表オフィス（副所長）
- ツーン・ナム・グループ（会長、事務局長、会長補佐）



本会議の様子



国際協力機構（JICA）からの発表

(2)本会議の成果

ア 横浜市とダナン市との協力フレームワークの合意

本会議ではダナン市における課題と、それに対して考えられる横浜発都市ソリューションについての議論が行われました。また、両市が優先的に取り組むべき分野を特定する、2019-2022年間の協力フレームワークが両市の間で署名されました。本フレームワークにおける重点活動分野は以下のとおりです。

- (1) 廃棄物管理
- (2) 環境への配慮（省エネ、排水処理、大気汚染対策等）
- (3) 港湾開発
- (4) 都市公共交通の開発
- (5) 環境に配慮した工業団地の開発
- (6) 革新的な地方行政

Y-PORT 事業では、今後も市内企業等と協力しながら横浜発都市ソリューションの提案を継続的にを行います。



ダナン市と横浜市との協力フレームワークに署名する
ダナン市計画投資局（DPI）と横浜市国際局

イ JICA 草の根技術協力事業（地域活性化特別枠） 「家庭系廃棄物の分別促進モデル事業」の成果確認

横浜市資源循環局より、JICA 草の根技術協力事業の成果が発表されました。本事業において実施したパイロット地区での分別啓発の成果として、市民のゴミ分別の必要性に関する意識向上が確認されました。この結果、ダナン市は市全域での分別・回収の実施を決定しています。



横浜市資源循環局からの発表

ウ JICA 草の根技術協力事業（パートナー型）「ベトナム国ダナン市を対象として効果的な省エネ対策による市民生活向上プロジェクト」にかかる署名式

JICA 草の根技術協力事業（パートナー型）として採択された「ベトナム国ダナン市を対象として効果的な省エネ対策による市民生活向上プロジェクト」について横浜市内中小企業の(株)オオスミ、横浜国立大学、JICA、ダナン市により事業内容の確認文書への署名が行われました。



「ベトナム国ダナン市を対象として効果的な省エネ対策による市民生活向上プロジェクト」にかかる署名式

エ 「ダナン市産業排水管理プロジェクト案件化調査」(JICA 案件化調査 中小企業支援型)の成果発表と実証事業に向けた協議

横浜市内中小企業のムラタ計測器サービス(株)は、2018-2019年にJICA支援による「ベトナム国ダナン市産業排水管理プロジェクト案件化調査」を実施しました。本会議ではこの案件化調査の成果が確認され、DORNEから継続的な支援の要請がありました。そこでJICAに今後提出する実証事業の内容についてDONRE及び同社間での合意がありました。



ダナン市の環境管理に貢献する環境・品質管理に係る実証事業の提案内容に関する合意署名

(3)港湾開発や都市交通整備に関する意見交換会

ア 港湾開発

横浜市港湾局より、横浜港の整備経緯、官民連携での管理体制、大型客船誘致の産業政策等を紹介しました。ダナン市交通局からは、リエンチュウ港の整備計画や、港湾の管理体制の検討が急務である状況が伝えられました。また、官民連携の在り方や、国と地方自治体との役割分担、近隣港との連携等について活発な意見交換が行われました。



横浜市の港湾施設の視察

イ 都市交通整備

横浜市都市整備局より、横浜市内の鉄道整備実績の事例として、みなとみらい線の整備及び横浜市高速鉄道3号線の(延伸計画)を紹介しました。ダナン市交通局からは、現在都市マスタープランの改訂作業をしていること等が紹介されました。また、どのようなプロセスで鉄道整備を計画するべきか(広域でのシミュレーションや費用対効果分析等)について活発な意見交換が行われました。



都市交通整備についての意見交換

ウ 環境分野の市内企業技術の視察

ダナン市の視察団は、食品廃棄物や廃プラスチックのリサイクルを行う(株)武松商事と、環境調査・分析を行うムラタ計測器サービス(株)を視察しました。各社が横浜市内で展開している環境技術をダナン市に導入するための方策や課題などについて活発な協議が行われました。



武松商事(株)の食品リサイクル工場の視察



武松商事(株)の食品リサイクル工場で作成された飼料



武松商事(株)での協議



ムラタ計測器サービス(株)のPM2.5のサンプラーの視察



ムラタ計測器サービス(株)での協議

2. 海外都市（ベトナム、フィリピン）で開催するフォーラムへの参加企業の募集

以下の日程で、海外都市でのフォーラムを行う予定です。現地の関連機関等を訪問して現地のニーズを調査する他、横浜発都市ソリューションの提案等を行います。詳細はY-PORTのメーリングリストやY-PORTワークショップ等を通じてご案内いたします。ぜひ奮ってご参加ください。

時期（予定）	国、都市	フォーラム名
2019年 12月19 日・20日	ベトナム国 ダナン市	ダナン都市開発 フォーラム分科会
2020年 2月上旬	フィリピン国 メトロセブ	メトロセブ都市開 発フォーラム

お問合せ先

横浜市国際局国際協力課
〒231-0015 横浜市中区尾上町1-8
関内新井ビル3階
Tel: 045-671-4396 Fax: 045-664-7145
E-mail: ki-yport@city.yokohama.jp